**2018年第十七回中国西部国際博覧会**

１、展示会紹介

中国西部国際博覧会（以下西博会）の原点は、中国政府の打ち出した「西部大開発」である。2000年5月から始まり、開催地は成都で、今年で第十七回目を迎える。

ただし、国家級展示会は二年おきに開かれ今回2018年は国家級展示会となる。（前回は2016年）。その間の開催は、比較的小規模の輸出入展示会になっている。

2018年第十七回西博会は「中国新時代　西部新作為（中国新時代・西部地区の新たな活動）」というテーマで、一帯一路の建設への貢献、新たな一帯一路沿線諸国の発展成果の見せ場でもあり、国際経済協力を展開するための重要イベントでもある。

２、ブース

　今回新潟県NICOブースとして、約7ブースを出展予定

（対象品目：電子製品、設備製造、服飾品、妊婦・ベビー用品、日用品、手芸工芸品等）

３、実績

１、第十六回西博会は、2016年11月3日～14日開催。展示会総面積は20万㎡、出展社は76か国（地区）、9027社。海外参加者約2万人（全体の33.3％）、海外企業2347社（26％）。入場者数は国内外総勢51万人。

２、第十六回西博会では、海外出展社の面積上位国は、韓国17882㎡、ドイツ4576㎡、パキスタン2780㎡、日本1178㎡。

４、日本関連実績

１、ジェトロは毎回約200㎡のブース面積を借りていた。（2018年は出展なし）

２、現在までの展示会要約：

①2013年第十四回西博会

日本貿易振興機構、日中経済協会、広島県等が率先し、静岡県、福島県、茨城県、沖縄県、大阪市、神戸市を含める自治体や企業約56社が出展。「中日減災・防災都市交流フォーラム」、「中日エコ社会合作フォーラム」等のイベントも開催。

②2014年第十五回西博会：

日本貿易振興機構、広島県が出展。食品、化粧品、日用品、アパレル、養老健康、機械設備、福島県の震災後の再建及び観光招致等の分野で幅広く展示していた。

③2015年第一回西博会輸出入商品展（国家級の展示会ではない）：

日本貿易振興機構、広島県、山梨県の招致の元で、松下、日本真空株式会社、日立、日東電工、キャノン、等の30社以上の企業が出展

③2016年第十六回西博会：

日本貿易振興機構、日中経済協会、広島県が出展

④2017年第二回西博会輸出入商品展：

日本貿易振興機構、広島県が出展